

下小岩小学校応援団実践報告書

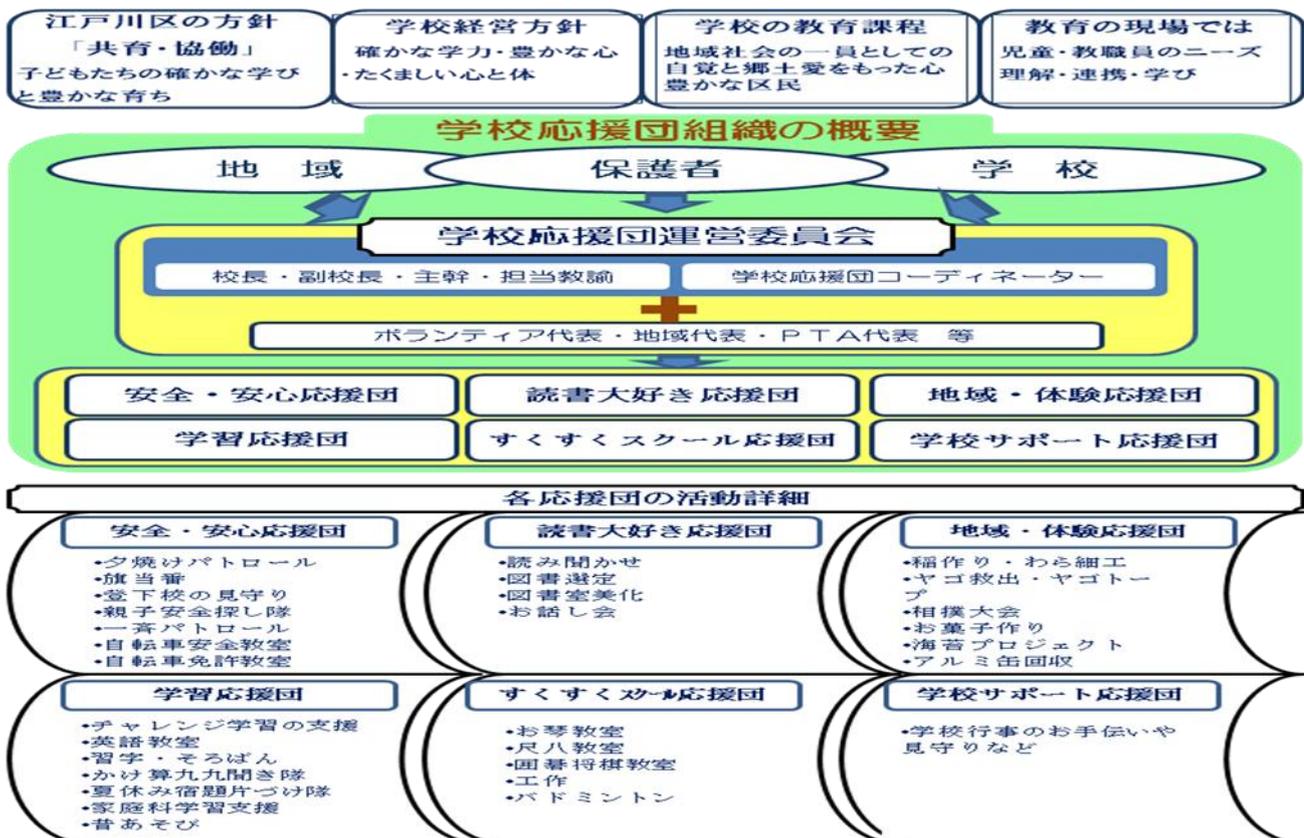
1 校長及び代表者氏名

下小岩小校長 山崎 雅己
 代表 神谷 知幸 コーディネーター 井上 幸男、戸田 健

2 今年度の活動内容

応援団の種類	応援団の名称	活動内容
安全・安心	旗振り 夕やけパトロール 自転車安全教室 下小岩地域安全協議会	登校時の安全を見守る 下校時の安全を見守る 自転車の乗り方等交通安全 地域による児童の安全を守る会
読書活動	読み聞かせ 本の選定 図書室整備 お話し会	月1回、朝読書の時間に読み聞かせ 小岩図書館に出向き、団体貸出 図書室の飾り付けや本の整理 保護者によるおはなし会
地域体験	稲作り・わら細工 ヤゴ救出・ヤゴトープ作り 相撲大会支援 海苔作り アルミ缶回収	稲の栽培と藁による亀作り プールでヤゴの成長を助け、育てる 小岩相撲甚句会による呼び出し さざなみ会による海苔作り支援 児童と地域が協力してアルミ缶回収
学習	英語活動支援 昔遊び支援 家庭科実習支援	元PTA役員の米国人の英語活動 コマ、けん玉、お手玉を練習支援 ミシン等裁縫実習の支援
すくすくスクール	お琴教室 囲碁将棋教室 バドミントン教室 工作教室	お琴の演奏支援、 囲碁将棋を楽しみながら学ぶ活動 バドミントンを楽しむ活動 紙飛行機など工作を楽しむ活動
学校サポート	学校行事のお手伝いや見守りを随時、協力していただく	

3 学校応援団組織図



4 今年度の成果と今後の課題

<成果>

- ・各応援団組織が学校からの要望に対して活発に活動し、充実した取り組みができた。
- ・地域の3名の方が学校応援団コーディネーターのため、適材適所でまとめ役になり応援団の活動が学校と連携してスムーズに組織的運営ができるようになった。

<課題>

- ・学校応援団の活動を文書化し、学校の年間教育計画の中に明確に位置付けて示すことができた。さらに担当や教員が変わっても、スムーズに活動に取り組めるようにしておく必要がある。また学校側は管理職だけでなく、主幹や主任教諭など、より多くの教員が、学校応援団の活動の詳細を理解し、教育活動の充実のために積極的な連携が図れるようにしていく必要がある。
- ・学校応援団がさらに活発にするためにPTAのOB・OGへの活動への呼びかけをしていけるとよい。

5 代表より

- ・今年度は、開校80周年でもあり、学校のためにできることがあれば進んで参加してくれるボランティアがたくさんいました。歴史のある本校では、地域の先輩たちが、伝統的に様々な形で教育活動に参加にしてくれています。私自身も少しでも子ども達のためになればというのを願って、微力ではありますが、コーディネーターとしての責任を果たしてきました。今後、さらに学校との連携を深め学校のニーズにあった充実した学校応援団にしていくことができると願っています。PTAのOB・OGの方々が応援団として参加して盛り立てていつまでも継続していけるようにしていきたいと思っています。

6 学校長より

- ・今年度は、「開校80周年行事」もあり、地域の歴史や地域とのつながりを特に実感する一年でした。そんな中で学校応援団の存在は、学校を支えてくれる地域の温かい力として児童の目に映ったことと思います。改めて感謝申し上げたいと思います。

特に、学習ボランティアさんは、学年の子どもと関わり、学習や体験学習など幅広い支援をしていただいています。また、一緒に活動することを楽しみしてくださっている応援団の皆様もいらっしゃることをお聞きしたり、子ども達の成長を喜んでくださったりしてくださることは、学校としても大きな喜びとなっています。また、その他にも、学校図書館の充実、読み聞かせ活動による読書の推進、登下校の安全、学校行事への支援体制など多岐にわたってのご支援をいただき教育活動の充実に大事な役割を果たしています。今後も活動が無理なくスムーズに展開できるよう努力していきます。